

郷土を語り
人々の輪が広がる

東京奈良県人会だより

編集発行所：一般社団法人 東京奈良県人会 発行人：西 与吏郎（2015年秋号）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 奈良県東京事務所内 電話 03-5210-2838 HP: <http://tkynarakenjinkai.jimdo.com/>

TOKYO NARA HUMAN NETWORK NEWS NO. 37

●● 平成27年度東京奈良県人会総会 ●●

東京奈良県人会法人化後初めての決算に関する総会となります平成27年度定時社員総会は、中村陽子理事司会、中村慶一理事議長の下、去る6月9日(火)ホテルグランドパレスにて133(内委任状64)名の参加を得て開催され、以下の議事総べて承認決定されました。なお、議事資料は別途送付済みです。会員皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。

1. 平成26年度事業報告(木村副会長)
2. 平成26年度会計決算報告(植嶋副会長)
(監査報告：菅野谷信宏監事)
3. 平成27年度事業計画(木村副会長)
4. 平成27年度会計予算(植嶋副会長)
5. 新理事選任：3名補充(吉村理事、森田理事、阪本理事)

引き続き、例年同様、上田奈良県東京事務所長から、西会長に対し、県政協力団体謝礼金の贈呈が執り行われました。

ここでは、西会長の開会の挨拶及び懇親会の模様を掲載します。



西与吏郎会長(十津川村)：本日はお忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。平素はいろいろご協力・ご支援を頂き、誠にありがとうございます。

この期の事業も計画どおり、無事終わることができました。念願であった社団法人としての出発もできました。また活発に活動している「若手の会」も大いに頑張っておられます。期待と喜びでいっぱいであります。これもひとえに県事務所の皆さまと役員の方々の皆さまのご苦勞があってこそであります。今後とも、微力ではありますが、県、郷土の発展と県人会の発展に努めてまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

【懇親会敬称略(出身地)】

司会(藤本理事)：乾杯のご発声は奈良県東京事務所の上田所長にお願いしたいと思います。

上田博文所長(広陵町)：県会におかれましては毎回役員会で議論を重ねておられまして、文化交流会あるいは「若手の会」で趣向を凝らしたイベントを実施していただきまして、首都圏におけるネットワークづくりに努めていただいております。奈良県政の推進に多大なるご尽力を賜っておりますことに改めましてお礼申し上げます。

それでは東京奈良県人会が一般社団法人としてますます発展されますこと、それから本日この席にお集まりの皆さま方のご活躍ならびにご健勝を祈念致しまして、乾杯させていただきます。ご唱和願います。乾杯!

司会：それではまず国会議員の先生方、五十音順で申し訳ございませんが、まず奥野信亮先生、お願い致します。

奥野信亮(御所市)：10年ほど前、私もそれ以来ずっとここに来ているのですが、寂しい会だったのですが、西会長が大変ご努力をしていただいて、随分にごやかな会になったと思います。私も毎年出来るだけ参加させていただいているわけですが、奈良県人会が社団法人ですよね。そして組織として充実して、ますますその構成を充実したものにさせていただくことをお願いしたいなと思います。



堀井巖(檀原市)：養徳学舎の出身ということで、東京奈良県人会の皆さまには学生のころから、大変お世話になっておりました。私は今奈良県の八木に住んでおりますけれど、毎週地元と東京を往復しています。今奈良に帰りますと、とにかく外国人の観光

客の人をよく見かけるようになりました。JRパスを持っているせいか、京都からJRの電車に乗ると半分くらいが外国人の場合もごぞいます。それから高野山から熊野本宮まで、野追川村、十津川村を通してフランスの人が4泊5日くらいでたくさん歩いておられるというようなことで、本当の意味で奈良の素晴らしさを分かる外国人の方が増えてきたのだなあと喜んでおります。皆さまのお力でもっともっとふるさと・奈良が元気になるように、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

高市早苗(奈良市)：堀井先生の出身母体であります総務省で仕事をさせていただいております。

奈良県はいろいろなところで面白い取り組みが始まってまいりました。東吉野村でもテレワークに取り組んでみようということで、先進的なお取り組みだと思ひます。とにかく日本各地、どこに住んでも質の高い教育が受けられて、必要な行政サービスが受けられ、安全に生活ができて働く場所がある。そういう地方がたくさん増えていったら、私は地方からGDPを押し上げていけると思ひます。今全国各地、おかげさまで地方税収もグッと増えてまいりましたので、いろいろとやれる政策も増えていくかと思ひます。

前田武志(十津川村)：皆さまのおかげでどんどんと隆盛になってきた、そのおかげかなと思ひます。若手の会が250人というのも、これは素晴らしいですね。

今高市大臣がおっしゃった、地域創生というようなことは、どの地域に行ってもある資源をいかに活用するか、人材であり自然ですよ。そういう意味ではここに関係のある方が多い。

例えば吉野町の北岡町長さんが来ておられるけれども、小水力発電なんていうのをやっておられるんですよ。それから県人会の木村副会長さんはバイオマスというのをやっておられる。それに太陽光だとかそういうものが入ってくると、そういう自然エネルギーというのは地元ですから、これは全部地元で経済が回る。そのようなイメージが里山資本主義と言われますけれども、私が国土交通大臣のときにその方向に国づくりのあり方、地域には本当にいいものがあるよということで、低炭素まちづくり法というのをつくり、それが基本法になっていて、今進み始めております。それを展開していくのは奈良県の蓄積、木の文化の老家でございますから、ぜひ皆さま方も奈良の良さというものを大いに喧伝していただければありがたいと思ひます。なに

しろ1400年の法隆寺があるのですから。

司会：今日は北岡吉野町長で八咫鳥の北岡本店社長がご参加されご挨拶いただきます。今日皆さまお飲みの八咫鳥・一升瓶3本を寄付していただいております。

北岡吉野町長：まずは東京奈良県人会の総会開催、誠にありがとうございます。皆さま方の顔を見たくて来させていただきました。というよりは、ふるさと納税のお願いに参りました(会場・笑)。高市大臣のおかげで、今年は非常に充実しております。吉野町へのご寄付をぜひよろしくお願ひします。個人的な話ですが、私は今年に4回、麴町の東京グリーンパレスというところで、その八咫鳥を楽しむ会というのをやっております。奈良県人会の方にもこちらの方にも来ていただければと思ひます。会社も含めて、何とか吉野を盛り上げなければいけないと思ひております。

(司会より前川先生からの祝電、馬淵先生の秘書の紹介後歓談)

司会：今日のお土産に入っているそうめんをご寄付いただきました三輪そうめんの松岡さん。どうぞ、お願ひします。

松岡昇司(田原本町)：どうもお世話になっております。三輪そうめん山本の松岡でございます。よろしくお願ひします。本日おみやげで弊社の商品を用意させていただきました。各百貨店には弊社の商品も並んでおりますので、ぜひとも三輪そうめん山本のそうめんをよろしくお願ひ致します。

司会：柿の葉寿司をご寄付いただきました柿の葉すし本舗の高原さん、どうぞお願ひします。

高原伸太郎(五條市)：今皆さんのテーブルの上に置かせていただいている柿の葉寿司ですが、お気付きになられた方もいらっしゃると思うのですけれども、今回は取れたての若葉・青葉で、手巻きでお持ちさせていただいております。柿の葉寿司本来は塩漬けの技術がなかったときには、全てこの若葉で巻いておった巻き寿司でございますので、一度この葉っぱのほうを匂ってみていただひいて、柿の葉寿司本来の味を感じていただけたらなと思ひております。

司会：続きまして、奈良新聞の矢部さんからご紹介です。

矢部(奈良市)：皆さんこんばんは。今日は2団体をご紹介します。まず「熱血天使」という東京の劇団です。

高山：皆さまこんばんは。劇団「熱血天使」の



高山です。7月に奈良東大寺の大仏建立の物語を上演します。皆さまぜひご覧ください。

水原:初めまして。劇団「熱血天使」の脚本担当の水原と申します。7月2日から5日までの3日間、川崎市の新百合ヶ丘アートセンターアルテリオ小劇場で大仏建立をテーマにした『空-KUU-まほろばの先へ』という舞台を上演します。演劇は、戦国時代や幕末の話はよくありますが奈良時代は取り上げられません。我々は奈良時代のすばらしさに着目し全国に広げたいとの思いから始めました。ぜひご来場ください。いつか奈良でも上演したいと思っていますので、ご協力をお願いします。

矢部:次は奈良のサッカーチーム「奈良クラブ」です。今年、JFL(日本フットボールリーグ)に昇格しました。東京在住のサポーター2人がアピールします。

中本(吉野町)、加木(五條市):派手なユニホームを着てき

ました。奈良クラブは奈良県で初めてJリーグを目指すサッカークラブで、JFLを勝ち抜けば、上のJ3、J2、J1と上がっていきけます。実は矢部さんの弟さんがGMを務め



ています。先日三鷹で試合があり400人くらいの奈良クラブサポーターが集まりました。矢部GMは「サッカーを通じて奈良を感じてもらいたい。東京の試合に大勢の人が応援に駆けつけてくれて感動した」とお話しされました。私も涙を流しながら聞きました。県人会の皆さんも奈良クラブの応援をよろしくお願いします。

奈良クラブの応援歌を歌わせていただきます。皆さん手拍子をお願いします。(応援歌斉唱)

司会:それでは続きまして、近藤さん。

近藤綾子(奈良市):失礼します。奈良市出身の近藤綾子と申します。私の出演します演奏会の案内をさせていただきます。私は中学校からクラリネットを吹いておりまして、今度私の所属しますタッド・ウインドシンフォニーという団体の演奏会が今週の金曜日蒲田でございます。鐘をテーマにした曲で華やかだと思しますので、チケットをご用意しておりますのでぜひお越しください。

司会:それでは坂口紀代美さん、いらっしゃいますか。

坂口紀代美(奈良市):2014年の新年会以来ですので、久

しぶりになりますが、その間にイタリア半島サンマリノ共和国で制作をしてきました。そんなことでまた、イタリア半島の共和国と奈良県との国際交流が出来てくると思います。奈良市観光大使として、私も頑張りたいと思っています。

司会:それでは続きまして藤岡さん。

藤岡宇太郎(五條市):私の実家である登録有形文化財の五條藤岡家住宅を皆さんに見ていただくだけではなく、使っていただくということでいろいろやっております。特に先ほどご挨拶されました柿の葉すしの田中相談役にはだいぶお世話になりました。『藤岡家住宅修復と活用の記録』という本を刊行しました。今日はこれをお持ちしておりますので、ご興味のある方はどうぞお持ちください、もし無くなった場合はアマゾンや書店でも買えるようになっておりますのでご注文ください。

司会:初参加の朝日放送の森本さん。よろしくお願いします。

森本茂樹(大和郡山市):BS朝日の森本です。「新婚さんいらっしゃい」や、M1グランプリのプロデューサー、たけしさんの「家庭の医学」、「ビフォーアフター」という番組などをやっておりました。

司会:新理事三名のご挨拶をお願いします。

吉村淨祐(大和高田市):「若手の会」のほうにも属しておりまして、まだまだ若輩者ですが、皆さんのご支援・ご指導を頂きながら、奈良県人会のために頑張っていきたいと思っています。

森田文子(奈良市):「若手の会」ではみんなのおかあちゃんとしてやってきまして、その気持ちを忘れないようにしてやっていきたいと思っています。

阪本澄(宇陀市):新宿でお華を教えております。お花がご入り用になりましたらよろしくお願いします。

奈良県の学生寮養徳学舎の稲田舎監の挨拶に続いて、寮生の自己紹介の後、佐々木勝世氏(御所市)の中締めにより盛会の内にお開きとなりました。



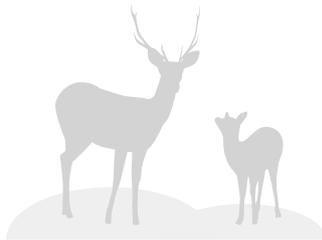
●● 東京奈良県人会若手の会記録 ●●

6月19日の午後7時から第8回若手の会が東京都中央区の奈良まほろば館で開かれた。奈良県出身の2つのバンドのミニライブが行われた後、懇親会で交流を深めた。奈良県出身者やゆかりの人ら約60人が参加した。

ミニライブは、奈良市出身の山本侑資さん(25)が率いるロックバンド「s+ay」と、大和郡山市出身者の天田優子さんがヴォーカルを務めるポップバンド「joy」がそれぞれ曲を披露した。

山本さんは奈良まほろば館1階のショップで働きながら東京でバンド活動を続けメジャーデビューを目指して頑張る若者。最近では都内各所のライブハウスなどで精力的にライブ活動を展開し着実にファンの支持を広げている。

参加者は両バンドの曲に聴き入りながら同郷の仲間と語らった。



9月4日の午後7時から第9回若手の会が東京都中央区の奈良まほろば館で開かれた。今回のテーマは「大和郡山市の金魚」で、約70人が参加した。冒頭、若手の会運営委員の大和克己さんが同市名産の金魚の歴史や、近年、盛り上がりを見せている全国金魚すくい選手権大会について解説をした後、実際に金魚すくい体験を行なった。金魚が泳ぐ水槽の傍らで金魚をすくうポイを握った参加者は真剣な眼差しで金魚すくいに挑戦したが、なかなかすくうことができず首をかしげて苦笑いする姿が多く見られた。参加者からは「懐かしい」「数十年ぶりにやった」などとの声があがり、久しぶりの金魚すくいを楽しんだ。

その後の懇親会では大勢の初参加者の自己紹介があり、名刺交換をしながら互いの近況を報告し合った。

以上

●● 奈良まほろば館からのお知らせ ●●

奈良県人会の皆様には、平素から奈良まほろば館の運営にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、奈良まほろば館は、昨年4月にリニューアルしてから2年目となり、品揃えが充実した大和野菜などの生鮮食料品を求めて来館されるお客様も増えてきています。今後とも、奈良の魅力を首都圏で発信し、奈良ファンを増やしていけるよう努めてまいります。

なお、今年度下半期に予定している主なイベント等は下記のとおりです。

皆さまのご来館をお待ち申し上げております。

● 27年度奈良まほろば館 下半期の予定(10月～3月) ●

10月

- あなたに見せたい斑鳩がある(斑鳩町)
- 奈良の「食」魅力体験(大和野菜などのPR)
- 御所市観光展(御所市)
- 橿原考古学研究所附属博物館(秋季特別展) ブリーフガイド

11月

- 下市町&黒滝村まるごと満喫展(下市町・黒滝村)
- 奈良市写真美術館パネル展
- 奈良の「食」魅力体験(柿などのPR)

12月

- かしはら展(橿原市)
- チャリティー書画展

- 奈良ブランド靴下の求評会

1月

- JR東海「うまいうるわし奈良」キャンペーンの紹介
- 奈良の「食」魅力体験(大和野菜などのPR)

2月

- さくらの魅力発見!(桜井市)
- 「記紀・万葉でたどる奈良」パネル展
- 橿原考古学研究所附属博物館(特別陳列) ブリーフガイド

3月

- 奈良県産業共励会100周年記念展

<http://www.mahoroba-kan.jp/>

電話:03-3516-3931

※このほかにも、「南都法話会」、「奈良・シルクロードの会」、奈良女子大学との連携講座や写経教室などの文化講座も実施しており、詳細情報や申込み等は奈良まほろば館のホームページをご覧ください。

【東京における県産食材レストランのご紹介】

東京白金台に、「食」のアンテナショップとして、奈良県及び県産食材のイメージアップ、ブランド力向上につながるようなレストランとショップが開設されます。

奈良の人々のやさしいおもてなしの精神で、お客様を包み込めるようにという願いをこめて、施設の名称を「とこのもり」と名付けられました。2階は、レストラン「CIEL ET SOL(シエル エ ソル)」で、天と地の恵みとして、奈良県産の食材を大切にしたフランス料理を目指しています。1階は、ショップ「LIVRER(リヴレ)」で、奈良の上質なたからものを届け、お客様につなぐ役目を担う場所でありたいという思いが込められています。

いずれも、今年12月オープン予定ですので、ご期待ください。



外観イメージ

住所：東京都港区白金台5-17-10
アクセス：地下鉄南北線白金台駅から徒歩5分



ふるさとコーナー 日本の始まりの地 橿原市



橿原市は人口124,329人(平成27年9月1日現在)の県下第二の都市で県内では5番目に市制を施行し、平成28年2月には市制60周年を迎えます。

ここ橿原の地には、日本が「国家」として歩み始めた時代が感じられる風景があります。日本史上、最初で最大の都城・藤原京の中心施設があった「藤原宮跡」、万葉びとが詠んだ和歌の中で男女の三角関係になぞらえられた「大和三山」など、歴史の面影に触れることができます。



藤原宮跡から望む天の香具山

平成27年4月、これらの歴史遺産が高取町、明日香村(橿原市を含む3市町村を「飛鳥地方」といいます。)の文化財などとともに「日本遺産」に認定されました。

市内には、これらの歴史遺産のほか、日本書紀において初代神武天皇が即位したとされる地に創建された「橿原神宮」や、戦国時代にできた寺内町で江戸時代の町並みが奇跡的に残る「今井町」などの見所が数多く存在します。特に橿原神宮では平成28年4月に神武天皇が崩御されて2600年の節目の年を迎えることから「神武天皇二千六百年大祭」が行われます。また、市内から少し足を伸ばせば、蘇我馬子の墓といわれる「石舞台古墳」、日本三大山城のひとつに数えられる「高取城跡」など飛鳥地方の歴史遺産にも触れることができます。

首都圏においても橿原市や飛鳥地方の知名度アップをめざし、平成27年11月にJR新宿駅で大型観光PRポスターを掲出する予定です。また、平成28年1月には有楽町朝日ホールで「飛鳥・橿原シンポジウム」を開催します。

一方で、奈良県立医科大学と協力して作成した「飛鳥シティリージョン」構想が、先進的な取組として、平成26年4月に国の地域活性化モデルケースに選定されました。「人も元気に、まちも元気に、社会も元気に」を目的として、「医療」・「観光」・「交通」をキーワードに、従来の市町村単位の枠にとらわれない橿原市を中心とした飛鳥地方として広域連携によるまちづくりを進めています。

このモデルケースの目標のひとつである大和八木駅周辺の拠点整備として、平成30年4月の供用開始をめざし、橿原市の玄関口である同駅南側に、



複合施設の完成イメージ

総合窓口機能を有する庁舎と宿泊施設

等を兼ね備えた中南和地域の観光拠点となる高さ45m(県内1位)の複合施設を建設します。

また、広域観光のツールとして、平成27年10月3日から橿原神宮前駅を拠点に超小型EV「MICHIMO」のレンタルサービスを開始しました。「MICHIMO」は地球環境にやさしい2人乗りの電気自動車で、自然の風を感じながら飛鳥地方の歴史遺産をお楽しみいただけます。



超小型EV「MICHIMO」

さらに、奈良県や奈良県立医科大学とそれぞれに包括協定を結び、大和八木駅周辺、医大周辺、橿原神宮前駅周辺を重点地区と位置づけ、「来てよかった」、「住んでよかった」と言ってもらえる連携によるまちづくりを進めています。

橿原市を拠点に飛鳥地方、中南和地域、さらには京都や大阪に足を運んでいただけるような、そんなまちづくりをめざしています。是非、橿原市にお越しくださり、ゆっくりとした時間を過ごしていただければと思います。



ふるさとコーナー

ともに創り
ともに生きるまち

葛城市



葛城市は、平成16年10月に新庄町と當麻町の合併により誕生したまちです。奈良県の北西部に位置し、二上山と葛城山の山並みを背にした平野部(奈良盆地)で構成されています。人々を見守るように構える山並みが織りなす風景は古代から人々に愛され、歌人前川佐美雄や作家司馬遼太郎もその美しさを称えています。山麓地域には、葛城山麓公園、屋敷山公園、二上山ふるさと公園があり、四季折々の花や芝生の広場が訪れる人々を楽しませてくれます。交通面では、近畿日本鉄道とJR西日本を合わせて7つの駅があり、京都・大阪方面へのアクセスも良好です。自動車以南阪奈道路葛城ICを利用すれば、大阪市内まで30分、関西国際空港まで60分程度です。誕生から11年の歳月を経た葛城市。豊かな自然や歴史文化の良さはそのままに、住み良さを兼ね備えたまちに成長しています。



葛城市内には古の時を超えて歴史的文化的遺産が現在まで数多く残っており、その中からいくつかご紹介いたします。第一に、中将姫伝説で有名な當麻寺があります。広い境内には13の塔頭と、塔や本堂などの主要な堂宇が独特な伽藍配置で建ち並び、東塔・西塔をはじめとする国宝8件、国重要文化財30件も所蔵し、一寺院に集まる国宝数としては全国でも有数の寺院です。寺院内の庭園では、牡丹、蓮、紅葉など四季折々の風景を楽しむことができます。當麻寺で千年以上途切れることなく毎年営まれてきた、聖衆来迎練供養会式(練供養)は、全国の練供養会式の発祥としても有名で、毎年5月14日、

二十五菩薩の来迎により、極楽浄土へ旅立たれる時の中将姫の様子を再現しています。練供養は、當麻寺とともに地域の人々の信仰の力によって受け継がれてきました。當麻寺は過去の歴史遺産ではなく、今も人々とともに生き続けている寺院であり、浄土信仰の聖地となっています。



第二に、葛城市は相撲発祥の地として伝えられています。「日本書紀」に相撲の起源とされている野見宿禰と當麻蹶速の天覧相撲についての記述があり、現在も蹶速の墓と伝えられる「蹶速塚」が市内に残っています。その隣には全国でも珍しい、相撲の資料館「相撲館『けはや座』」があり、約12,000点の資料を所有しています。相撲館では相撲体験やけはや法要などの相撲に関わる行事や、本場所と同じ大きさの土俵に上がることができるなど、外国人観光客にも人気を博しています。

第三に、敷設から1,400年を迎えた日本で一番古い官道(国道)である竹内街道があります。古くから大和の大動脈として、人と文化を結び、大阪府と隣接し、和歌山県境とも近いため、人や物の往来が盛んな地でした。かつて、沿道の集



落に松尾芭蕉が滞在し、また、作家司馬遼太郎が幼少期を過ごしたという文学の偉人に縁のある貴重な場所でもありました。今でも、街道沿いには宿場町の名残を伝える屋敷や寺社など、歴史を語る建造物が残ることから、散策に訪れる観光客に親しまれています。

葛城市はこれらの豊かな自然と歴史文化を大切にしながら、まちに更なるにぎわいをつくるためのさまざまな取り組みを進めています。「すむなら葛城市住宅取得事業補助金交付事業」では、葛城市内で住宅を取得した方に対して、新築住宅20,000円、中古住宅10,000円の補助金を交付するとともに、市内金融機関との連携により、住宅ローン金利を店頭表示から1.5%差し引くサービスもあります。そして、平成28年秋には、南阪奈道路葛城ICの南側に新しい道の駅「(仮称)道の駅かつらぎ」が完成予定です。山麓地域の広大な敷地内に、農産物・特産品直売所や加工施設、道路情報や休憩スペース、そして、道の駅にテナント方式で出店することができるチャレンジショップの運営も計画されています。新しい道の駅は中南和地域の玄関口となる拠点から、葛城市の産業を活性化させ、葛城市の魅力を全国に発信します。

葛城市は、中学生までの医療費助成制度など子育て世帯の方にとって特に住みやすい環境になっています。新しい住まいをお探しの方は、ぜひ一度葛城市にお越しいただき、葛城市の自然環境や文化遺産を感じてください。葛城市出身の漫画家、木下聡志さんがデザインした、葛城市のマスコットキャラクターの「蓮花ちゃん」が、お出迎えます。



●● 新理事登場 ●●

この度、東京奈良県人会の理事に就任させて頂きました吉村浄祐でございます。

昨年度に一般社団法人化されました、120年以上の歴史のある「東京奈良県人会」の更なる発展のため、また奈良県の発展のために、微力ながら少しでもお役に立ちたいと考えております。

また、私は若手の会にも参加させて頂いております。おかげさまで若年層の会員も増加傾向にございます。若手の会の皆様方にも、会員になって良かったと感じて頂けるように邁進努力致す所存でございます。

もとより浅学非才の若輩者ではございますが、西会長をはじめ副会長、先輩理事の皆様、そして会員の皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



奈良県人会理事 吉村 浄祐

この度、伝統ある奈良県人会の理事を拝命致しました。大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。諸先輩にご指導いただき、使命を全うすべく、全力を尽くす所存でございます。奈良市秋篠町で育ちました。秋篠寺の伎芸天、苔の庭は私の魂の宝物です。東京に来て32年たち、奈良の良さをしみじみ感じております。奈良にうまい物なしと申します。私が死ぬ前に食べたい物は、柿の葉寿司、三輪素麺、奈良公園茶店のわらびもちです。



奈良県人会理事 森田 文子



奈良県人会理事 阪本 澄

謹啓 時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は何かと奈良県人会へご支援ご協力頂きましてありがとうございました。このたび若輩者の私が新役員へとお声をかけて頂き承認していただきました。
 誠に微力ではございますが奈良県人会の発展に努力する所存でございます。格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



●● お知らせ ●●

- ふるさと奈良の集い開催について
 来る11月12日18時30分より東京マリオットホテルにおいて、奈良県との共催にて開催いたします。
 (照会先：奈良県東京事務所 森本・松井 03-5488-3911)
- 文化交流会開催について(案内状同封)
 来る12月7日18時30分より都道府県会館会議室にて開催します。講師として舞踏家の^{むくなおみ}銚久奈緒美さん(奈良市出身)をお招きし、「舞踏と私」と題して映像を交えご講演いただきます。
- 年会費について
 ・年会費(1年3000円)をまだお支払いいただいていない方には振込用紙を同封しておりますので、お支払いにご協力いただきますようお願い申し上げます。
 ・なお、一般社団法人化以降2年分未納の方につきましては、文化交流会ご案内にその旨表示しておりますので2年分6000円(@3000×2)お振込み下さい。
 未納のまま来年3月を迎えますと、メーリングリストから削除され、来年4月以降会報・行事等の案内は送付されませんので、ご注意ください。

参 与 会

2015年8月24日(月)、都道府県会館(平河町)の見晴らしのよい最上階カラムで参与会を開催。クラウドファンディング(Crowdfunding)についての説明や、(1)このたび東京証券取引所に上場することとなったJESCOホールディングス(株)及び(2)近畿日本鉄道(株)から社名変更し機構改革を行なった近鉄グループホールディングス(株)の企業紹介がなされた後、出席会員の現況報告を懇談の中に織り交ぜ、愉快的な暑気払いのひと時を過ごしました。

